

どーらく 改題 逆説土楽たより

断捨離考

10月号(NO37)通巻187号

2021年10月10日(金)発行(毎月10日)

【農暦】すべての処方箋は、やはり“農”にあるのだと思う！

○暑さ寒さは彼岸までと云うが夏日の気温になっても鬱陶しい暑さではない。8日は寒露であった。露が冷たく感じられる所で、空気が澄み、夜空にさえざえと月が明るむ季節だという。新月を過ぎたばかりで、満月は20日である。ススキに月もいい。コロナ感染者数も少なくなり、緊急事態宣言が1日に解除された。手放しで安心は出来ないが、一息つかれた人は多いのではと思う。コロナも、政治不信も浄化されて、そして月を愛でながら美酒で酔いたいものである。

○6日には温暖化の予測法開発で真鍋叔郎さんがノーベル物理学賞の受賞のニュースがあった。温暖化問題の研究者に日本人がいたのだ。研究の場は米国であったと聞くとやはりと思う。学会の任命拒否するような国では研究者は育たないのだと改め思った。温暖化も、コロナも、それに格差貧困も、労働分配率は先進国の中で最下位にあると聞く。やはり政治の問題は大きい。



<畑全景>8日撮影

○格差貧困は想像を超えている。温暖化も待ったなしである。資本主義経済の在り方が問われるほど深刻なものがある。SDGSの課題は切迫している。不の遺産は次世代に残してはいけない。次世代のためにも大きく変えなくてはならない。すべての処方箋は、やはり“農”にあるのだと思う。自然と関わり方にこそヒントがある。大事なことは自然との共生にある。

○歯痛で7月から悩まされている。3本目まで治療していたが、4本目があった。レントゲン撮影で知覚過敏の原因が虫歯であったと判った。セカンドオピニオン迄考えるところだった。これで歯痛から解放されれば、コロナと暑さとの3重苦から解放されることになる。気力と体力の衰えに歯止がかけられると思うと嬉しい。



<薩摩芋はるか>8日撮影

○草の繁茂に負けたエリアはまだ多い。草花、ハーブ、ごみ、フキなどのエリアをつくりたいと思っている。より良い菜園へ向け頑張りたい。カボチャ、黒豆、小豆の収穫、それに剪定などの作業もある。良い汗を流し、秋の菜園を楽しみたい。(了)

【楽農】<畑>枝豆(黒豆)、菊、薩摩芋、ピーマン、トマトなど収穫。

草刈りは繰り返し頑張る。

【楽市】イベントなど；緊急事態宣言1日から解除。笠吟連(3日)川柳の会(7日)。

【つぶやき=Tweet】日本の報道の自由度は67位で、主要7カ国では最下位である！

○ジェンダーフリーの旗手の上野千鶴子さんが八ヶ岳の南麓で山暮らしを始めたという。コロナ禍で大変な思いをしたひとたちにはもうしわけないが、山の家は、私に至福の時間をくれた。とあった。上野さんの“八ヶ岳南麓から”を読んで、八ヶ岳が急に懐かしくなった。

○20年前近くになるが、農業大学校の実習見学会。有機農研の合宿学習会、生ごみ堆肥化の会で10年位続いた夏期合宿。柳生博さん家にも、夜の屋外バーレーも、ビールを飲みながら農業談義など。環境や農への志しに燃えていたように思う。八ヶ岳南麓と云えば山梨である。北杜



＜ク्यूイ＞8日撮影

市のサントリー工場で飲んだウイスキーは美味だったこと。そういえばラクビーOB同期が八ヶ岳に山荘を持っていた。八ヶ岳での、いろいろなことが懐かしく思い出された。

○山梨の北杜市は菅原文太・文子夫妻が農業を始めたところである。夫妻は1998年に岐阜県の飛騨地方に移住。2009年には山梨・北杜市へ移住し、耕作放棄地で無農薬有機農業を始められた。「一粒万倍になる農業は、命を育てる仕事。生産の仕事です。一方、人の命も物も一瞬で奪い去る戦争は消耗と消費以外の何ものでもない」と無農薬有機農業の普及や反戦アピールなどの社会活動をされたと聞く。私が笠間で農的生活を始めた時期と重なる。八ヶ岳では、ここには畑が有ると誘われたこともあった。もうIFはないが八ヶ岳南麓は素晴らしいところだった。笠間と重ねてみたいと思う。

○今日(9日)の新聞に、強権批判2記者にノーベル平和賞のニュースがあった。フィリピンのジャーナリストのマリア・レッサさんとロシアの独立系リベラル新聞編集長が受賞された。日本では総理へ不快発言がニュースキャスターの降板に繋がった？という話がある。何故か政権に批判的なニュースは外信が多い。やはりマスコミも含め村度社会になっているように思えてならない。



＜黒豆・菊など＞8日撮影

○国際NGOの「報道の自由度の比較」によれば、日本は近年どんどん順位を下げて67位に。主要7カ国では最下位である。米国のトランプ前大統領は気に入らない記者や報道機関を名指しし、会見場から締めだした。という米国は44位で、韓国42位である。日本はかなり怖い国になっている。マスコミの政権チェック機能はかなり怪しくなっている。

○政権批判を許さない村度社会。覇権主義を煽る風潮、戦争の出来る国へ進んでいるようで怖い。衆院選では、よい政治を選びたい(了)

○断捨離考：農業資材、衣類、CD類など整理処分した。するほどに課題が。継続し進めたい。

【後記】コロナ宣言解除。単純には喜べないが気力アップにしたい。【HP;kogure農場に転載】

発行者；小暮虎雄

住所；笠間市本戸4201-10

携帯電話；090-9333-4135

HP；kogure農場

メール；torao-k@nifty.com